

nouvelle Fontaine

発行日 2021年10月25日

発行 岸和田文化事業協会

〒596-0073 岸和田市岸城町5-10
岸和田市立自泉会館内

TEL/FAX 072-437-3801

Email: fontaine@sensyu.ne.jp

https://jisen.jp

J.S. バッハの世界

カフェ・ツインーマンへようこそ！

日本古楽アカデミー 中山 裕一

カフェ文化がドイツに流入してきた頃、1701年ライプツィヒ大学で法学専攻だったG.Ph.テレマンは学内に音楽サークル "Collegium Musicum" (コレギウム・ムジクム) を創設し、音楽を演奏していきます。

1723年にJ.S.バッハがライプツィヒにきてから、このサークルの指導・指揮をするようになります。そのバッハが仕事の合間や仕事終わりに入り浸っていたカフェ…「カフェ・ツインーマン」。

バッハはコレギウム・ムジクムの演奏の場を創出するため、カフェ・ツインーマンで1729～1737年、1739～1741年の計13年間、ほぼ毎週金曜日に演奏会を開催しました。

それまで音楽は教会や宮廷で演奏され、貴族や身分の高い人などに限られた楽しみでした。広く一般の方にも音楽を楽しんでもらおうとカフェで演奏会を催し、天気がいい時は野外での演奏もあったようです。

奏者もプロ・アマ問わず「音楽はみんなのためにある！」という発想で。

ここでバッハはヴィヴァルディやテレマンなどの作品を演奏し、管弦楽曲やブランデンブルク協奏曲など自身の作品も演奏しました。

11月27日(土)岸和田市立自泉会館での公演は、バッハ作曲当時の楽器やレプリカを用い、カフェ・ツインーマンでの演奏会を再現。バッハのイメージした音の響き、雰囲気、音の空間へと誘います。素晴らしい時間をお過ごしください。

※日時等については8面をご覧ください。

当日使用する古楽器の一部紹介です。

バロックヴァイオリンのガット弦の張りは現代のものより緩く、弓も細く短く均等な反りでないため、お話をしているかのように音を奏でられる印象です。ヴァイオリンの形は、今年制作されたものも有名なストラディバリウスも約500年間変わっていません。1800年頃から1000人以上のホールや金管楽器などに負けない音量が求められるようになり、改良されていきます。改良ポイントは、ネック(指板)の傾斜角度を上げ張りを強くする。低音を鳴りやすくするため、バスバーを長く太く、魂柱も太くし内部構造も変化しました。弦の素材はガット(羊の腸)からナイロン、スチールと強いものへ。演奏スタイルは、ヴァイオリンは肩あて、あごあてを使用、チェロは足で挟むスタイルからエンドピンを使い床において支える形にすることで安定して演奏でき、弓が均等に強い音が鳴りやすくなっていました。

チェンバロの起源は明らかではありませんが、1397年に書かれた書物にチェンバロについての記載があります。バロック時代(1600～1750年)全盛期には宮廷音楽に多く用いられ、華やかに時代を彩りました。しかしピアノの発明と急速な発展により、チェンバロの人気は衰えていきます。ピアノとチェンバロは形も似ていて、どちらも鍵盤を指で押して演奏し、見た目にはあまり変わらないため昔のピアノと言われることもあります。音を出す仕組みが全く違います。ピアノはハンマーで叩いて弦を振動させて音を出す「打弦楽器」チェンバロは爪で弾くことによって弦を振動させて音を出す「撥弦楽器」です。この弦を弾くサウンドが優美で煌びやかな印象を与えます。音の強弱を付けることができませんが和音の数やスピードなど巧みに即興的に色付けして演奏します。

フラウトラヴェルソ(バロック・フルート) バロック時代フルートとは縦向きに吹くフルートすなわちリコーダーのことを指しており、トラヴェルソtraverso(横向き)“横向きに吹く笛”と区別して呼ぶようになったそうです。素材は柘植(つげ)や黒檀など木製のフルートで優しい素朴な響きの楽器です。



バロックヴァイオリン



フラウトラヴェルソ



ヴァイオリン内部構造



チェンバロ



日本古楽アカデミー

泉州桐箆笥 伝統にかける誇り

株式会社 田中家具製作所 代表取締役 社長 田中 由紀彦 氏

桐箆笥は今から 300 年以上前に大阪で最初に生まれました。豊かな町であった大阪には豪華な着物もたくさん集まり、それを収納するため重宝されたのが桐箆笥です。「大阪泉州桐箆笥」は経済産業大臣指定伝統工芸品、大阪府知事指定伝統工芸品に認定されています。その長い歴史と伝統を受け継いでいる田中家具製作所の田中社長にお話を伺いました。



田中家具製作所は大正 8 年の創業で今年で 103 年目になります。会社を継ぐというのはとても大変です。若い頃も今も苦勞しています。13 年前に亡くなった父に「いいものだけやってい

け。それがでけへんならやめてもいい」と言われましたが、今まで会社を続け泉州の桐箆笥の技術を代々残しているのは田中の意地もあります。

うちでは本物の桐箆笥しか作らない。良質の桐だけを使って職人が手間と時間をかけて作っています。ただこだわりぬいた桐箆笥は少し高額なので、なかなか売れないんです。それにいい桐材を使って職人（伝統工芸士）が手づくりしてお作りするので利益はあがらない。粗悪な中国産の桐を使ったり表面だけ桐のシートを貼っているような安価なものが売れていく。とても悔しい思いがあります。ですがそれでも使うのは本物の桐だけ。そうでないと 100 年、200 年使える箆笥はできません。『買っていただけたお客様のために本物の日本の桐箆笥を残したい』こだわって作る理由です。

今もコロナで苦しい時期ですが、うちがやめてしまったら泉州の桐箆笥はもう無くなる。職人の技術も途切れさせてしまう。こだわりぬいたうちの桐たんすを全国の方に見て欲しい。そういった思いで日々励んでいます。

大変ですがもちろんいいこともあります。高円宮典子様が出雲大社の千家家に嫁がれた時には嫁入り箆笥を作らせていただきました。とても恐縮で生きた心地がしませんでした。宮様から日本で一番いい箆笥を作れる工房で支度をしたいとご注文いただいたのは、父が言ってくれた事をやってきたご褒美かなと思いました。

うちでは古い桐たんすの洗い替え修理もやっていて、伝統ある技術でまるで新品のように蘇えらすことができます。ホームページで納品事例やギャラリーの出来栄えを見て遠方からのお客様もご依頼してくれます。お客様一人一人にお祖母様やお母様の箆笥を使いたい

という親から子への想いがあります。それを繋ぐお手伝いをさせていただくのが私どもの仕事です。

桐箆笥の特質は気密性に優れ、熱伝導率が低く、火事に遭っても表面が焦げるだけ。桐の木はアルカリ性で虫がつかない。湿気を吸うので防カビできる。中を守ってくれる。財産を守るために桐が使われたのです。

本当の桐箆笥の良さを知って欲しいと切に思います。これほどすごい収納家具は世界のどこにもありません。長く使えてリメイクもできる。なぜこの日本の伝統である桐箆笥に外国のまがい物の木を使うのか。日本にいい木がたくさんある。それを使うと日本の林業も支えられる。子どもに残していけるものとして、ひとつ持っていていいかなと思って欲しいです。

いい物は必ず残っていくんです。思いや魂が残っていく。私が死ぬ時、父に叱られない生き方をしたいですね。でないとあの世で顔をあわせられませんからね。

こんな桐箆笥屋が地元岸和田にあることも、是非、覚えていただきたいです。

その後、ショールームでたくさんの桐箆笥を拝見しました。昔ながらの桐箆笥はもちろん、漆塗りに蒔絵や螺鈿を施したもの、洋風にデザインされたものなど、素晴らしくて目が眩みそう……。けれどそれ以上に心に残ったのは 田中社長の言葉から溢れてくる桐箆笥への愛情と仕事への誇りです。合間に伺った愛犬小春ちゃんの話も含め、対するものを大事にするお人柄に心惹かれました。HP からその一端が感じられます。ぜひご覧下さいね。

<https://www.hatsune-kagu.com/>

(取材:黒木・小末)



『熊沢友雄日記』

～岸和田藩士の暮らしをたどる～

監修：街道楽・江間一夫



熊沢友雄（1831～1896）は、幕末の岸和田藩士です。岡部家家臣下津忠雄の次男として、今の岸和田市堺町に生まれました。さほど裕福な家ではなく、10歳頃から内職や家事を手がけていました。学問好きで、非常に清廉な人であったようです。20歳で熊沢家嗣子となると養父熊沢賢之に連なり、小姓役助勤を拝命。品行方正なため、常に主君の近くに仕えるという名誉を得ています。維新後は堺県会議員、同副議長、大阪府会議員、南・日根郡長などを歴任しました。

この熊沢が嘉永5(1852)年から明治28(1895)年までの間、一時期を除きほぼ全期間にわたって記述していたのが『熊沢友雄日記』です。泉南市樽井で見つかりました。保有されていたご夫妻が日記の重要性を考慮され岸和田市郷土文化課に持ち込んでくださったことで、当時を知る第一級の史料として世に出ることとなりました。

日記には、当時の社会の変化や時勢への感慨、

また食事や娯楽、親類・友人との交流など、日々の生活に関する記述も多く記されています。だんじり（壇尻と記載）や、参勤交代の様子、桜田門外の変、新島八重についての記述もみられ、江戸末期から明治という激動の時代を岸和田で生きた人物がどのように暮らし、何を感じていたのかを伝えてくれる貴重な史料です。

ぬーべるふおんてーぬ前号まで掲載していた『岸和田マイスター』の監修者は、日記を保存されていた方の親戚であったため現在も日記の探究に取り組んでいらっしゃいます。

次号より『熊沢友雄日記』を紐解いてまいります。当時とは全く違う状況ですが、私たちも今、まさに時世の変化に立ち向かっています。激しく揺れ動く時代を生きた人の足跡を辿ることで、気づきや共感を見つけられるかもしれません。一緒に150年以上前の岸和田を訪ねてみましょう。



岸和田市ホームページより

Cultural Hot Spot In Kishiwada

岸和田の文化ホット情報

岸和田七宮詣 岸和田の神社を訪ねる ①

半世紀を越えて岸和田に暮らしていますが、「岸和田七宮詣」というものがあることを知りませんでした。正月元旦から小正月までに、岸和田市内にある七つの神社に参拝すると、その地の神様から大きな御神徳をいただけるのだそうです。

七つの神社は「岸和田天神宮」「岸城神社」「積川神社」「弥栄神社」「兵主神社」「土生神社」「夜疑神社」。どちらもよく知っているお宮さんです。初詣にえべっさん、お宮参り、七五三、交通安全のお札をもらったこともありました。日々の生活の中、なにかとお世話になっている神社ですが、今までどんな神様がいらっしゃるのかも知らずにお参りしていました。

それならばと、岸和田を守り、暮らしに根付いている七つの神社を訪ね「ぬーべるふおんてーぬぬの岸和田七宮詣」をしようということになりました。次号から順次、紹介していきます。お楽しみに！

(文責 小末)



弥栄神社



兵主神社



土生神社



夜疑神社



岸和田天神宮



岸城神社



積川神社

宇宙のお話 矢治健太郎さんに聞く

8月9日自泉会館展示室にて開催されました。

この講演は、募集したところすぐに席が埋まるほどの人気で、親子で来られた方がほとんどでした。

始めに、講演当日の夜空をPCのソフトを使って、夏の三大角を探したり、天の川や木星と土星も探してみようと、プロジェクターで映し説明していただきました。

今年は月が明るくないので、8月13日のペルセウス座流星群を見るのに条件がよかったそうですが、残念ながら曇り空で見ることができませんでした。

【矢治健太郎さん プロフィール】

岸和田高校卒業天体部
東京大学教養学部基礎科学科第二 卒業
東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻修士課程 修了
総合研究大学院大学博士課程数物科学研究科天文科学専攻
和歌山県の公開天文台・かわべ天文公園で主任研究員・天文台長
国立天文台天文学データ解析研究センター・Solar-B推進室にて研究支援員
立教大学プログラム・コーディネーター。
現代GP「理数教育連携を通じたCBLSプログラム」を推進する。
立教大学理学部共通教育推進室 特任准教授
国立天文台・太陽観測所 専門研究職員、
太陽観測科学プロジェクト 専門研究職員
自然科学研究機構 核融合科学研究所 研究力強化戦略室 URA職員
早稲田大学 教育学部 非常勤講師
専門は太陽物理学・天文教育・科学コミュニケーション

矢治さんは、高校生のころから太陽の黒点を観測していて、大学でも太陽の研究をし、国立天文台時代、科学衛星「ひので」という人工衛星の運用や開発をされ、太陽の観測をしていました。

小惑星を見つけた方が、知人を通して矢治さんの名前をつけたいということで「Yaji」（登録番号7956）と命名されましたが、まだその方とは会ったことがないそうです。

来られた方の感想は「映像を観ながら専門家のお話を聞けて楽しい時間でした」「宇宙だけでなく、たくさんの星座も知ることができてうれしかった」「大人になり改めて星の話をうかがえて、子どもの時とはまた違って新鮮でした」など好評でした。

会場には岸和田高校天体部の先輩も来られ、終わってから熱心に質問をされる参加者の方が何人もいました。これを機会に宇宙について勉強してみようと思えたらいいですね。

「宇宙のお話 矢治健太郎さんに聞く」は下記の日程で開催しました。
日 時：8月9日(月・祝)午後2時
会 場：自泉会館展示室
参加者数：29人





Ichigo-Ichien

【未来へ ここから】

新しい日本語訳で楽しむオペラ

自泉アーティストバンク 山川 大樹



ちょうど音楽大学でのオペラ公演が「日本語訳詞上演」から「原語上演」に完全に切り替わるタイミングを、私は現役の声楽科の学生として過ごしました。苦労も沢山いたしましたがどうかこうにか「それぞれのオペラの原語で考えて動ける」レベルを目指して沢山の外国語に取り組ん

できました。今では大規模な定期公演から小規模なコンサートまで、オペラは原語上演が主流となっています。

もちろん原語で上演されるようになってオペラの公演のレベルは格段に向上したと思います。ですが、外国語上演の舞台上とお客様の反応との乖離は大きくなってはいないか・・・と演者として不安になる事があります。

いかに会心の演技ができたとしても、原語上演時にはお客様の視線は舞台上の演者ではなく、字幕の電光掲示板により多く注がれているように思えるからです。

オペラにはアカデミックな取り組みも必要です。イタリアオペラならイタリア語、ドイツオペラならドイツ語。外国語からのアプローチも当然必要かと思えます。ですがアカデミック一辺倒では、エンターテインメントとしての楽しみが十分に伝えられていないのかもしれません。

原語上演が当然になった時代のオペラ歌手であるからこそ、そしてご存知の通り新型コロナウイルス拡大防止のために劇場文化がピンチであるからこそ色々考えます。

日本語訳詞によるオペラでお客様の間口を広げたい！高いと思える敷居を下げたい！

そのような思いがより強まる2021年の秋です。



* 岸和田文化事業協会は、自泉アーティストバンクをとおして若い芸術家を応援しています。

「テレビ岸和田」との出会い

片山 智信



テレビのない生活など、とても考えられない世の中になった。情報の多様化が急速に進展する中で、益々テレビが欠かせない時代になってきたとおもわれる。

私が10年前まで携わっていた「テレビ岸和田」は昭和62年、岸和田市の第三セクターとしてテレピア計画の中心メディアの役割を果たしながら、地域に密着した情報発信基地として多くの市民に親しまれつつ成長してきたが、ケーブルテレビ業界も大きく変わろうとしている。

最初の頃は「だんじり祭り」や「岸和田の話題」など、主に地域情報を放送してきたが、最近はインターネットや固定電話等と合わせた、トリプルサービスを行っている。

また、デジタル放送の出現により、放送と通信が融合した新しい情報化社会への変化により、CSやBS放送は既にデジタル化され、高画質、高音質でデータ放送も双方向機能を生かして、今までの見るテレビから使うテレビに変わろうとしている。しかも、100チャンネル以上の多チャンネルも可能で、好きな時間に好きな番組を見ることができる。

また最近は高度BS実用放送が始まり、テレビは4K・8Kの時代を迎えてきた。またインターネットについてはパソコンやスマホで動画を視聴する割合が増加し、ケーブルテレビもさらなる高度化が要求されている。

ドッグイヤーにも値する超スピードの技術革新により20世紀に生まれてきた人間が、体験し得なかった情報の大洪水の中で一体何を行ったらいいのか、取捨選択するのに大変である。世の中、もう年だからといって避けて通れない時代が来ているのかな？

それが多分21世紀を生き残っていく条件であることには間違いはない。

Event Report

アンケートからの抜粋

協会主催の事業にご来場いただき、有難うございました。
アンケートにご協力いただいた方の感想を紹介させていただきます。

自泉アーティストバンク登録者によるコンサート 2人のピアニストによる「ショパン」

日 時:令和3年7月30日(金)午後6時30分開演
会 場:岸和田市立自泉会館ホール
入場者数:39人

〈皆さんの声〉

- ◆同じピアノなのに、2人の違う音色に驚きました。良いプレミアムフライデーでした。
- ◆耳にしたことのある有名な曲ばかりで、とても楽しく聴かせていただきました。
- ◆2人の演奏スタイルの違いも面白く、飽きない演奏会でした。



3館合同事業 おはなし×あそび きっちゃん“の”シリーズ シリーズ②「きっちゃん“の”宴×仮面を使って、身体を創造する」

日 時:令和3年7月11日(日)午後1時～3時
会 場:浪切ホール多目的ホール
参加者数:10人

〈皆さんの声〉

- ◆思いもけない材料からの展開、楽しかったです。
- ◆「動いてください」に反応できないことにびっくりしました。
- ◆工作の流れが良かった。決められたものなら上手に作るのか、一番うまくできるのか、こんなもので良いのか、と、比べて思ってしまうが、それぞれの個性、感性が出ていて、おもしろいものがあった。



3館合同事業 おはなし×あそび きっちゃん“の”シリーズ シリーズ③「きっちゃん“の”築城×お芝居を遊ぼう」

日 時:令和3年8月1日(日)午後1時30分開演
会 場:浪切ホール小ホール
入場者数:68人

〈皆さんの声〉

- ◆岸和田の3館合同事業というのが興味深いです。アフタートークで作者の方が岸和田の街並みがおもしろいと感じられていた。これは本当にそうだと思います
- ◆こんな素敵なものがあるのが私の街やぞー楽しい時間をありがとうございました。
- ◆岸和田のいいところを改めて知ることができた1日になりました。



宇宙のお話 矢治健太郎さんに聞く(5面に詳しく掲載しています)

第7回自泉Re.フレッシュコンサート

日 時:令和3年8月7日(土)午後6時開演
会 場:岸和田市立自泉会館ホール
入場者数:9人

〈皆さんの声〉

- ◆アットホームな感じでよかったです。
- ◆皆さんそれぞれが、音楽を愛し精進されていることがよくわかりました。



自泉アーティストバンク登録者によるコンサート 2人のピアニストが贈る「フランス音楽」

日 時:令和3年8月21日(土)午後2時開演
会 場:岸和田市立自泉会館ホール
入場者数:25人

〈皆さんの声〉

- ◆若手のピアニストにこのような舞台チャンスを与えてあげてください。
- ◆曲の背景を教えてもらいながら聴くと、知っている曲ではあるが見方が変わりました。
- ◆ピアノの音色で癒していたいただける機会が本当にうれしいです。



第10回自泉ジュニアコンサート

日 時:令和3年8月29日(日)午後2時開演
会 場:岸和田市立自泉会館ホール
入場者数:23人 ★出演組数:15組

〈皆さんの声〉◆感染対策をきっちりして安心して参加できました。

- ◆本人にとって良い経験となりました。他の方の演奏が聴けないのが残念です。
- ◆のびのびと演奏ができました。コンサートの前にリハーサルができて良かったです。



Jr 最優秀賞
千田 陶子

Jr 優秀賞
吉田 龍司

Jr 優秀賞
清水 来実

Jr 優秀賞
林 恵太郎

橋本恵史・歌曲亭文十弁二人会

日 時:令和3年9月11日(土)午後2時開演
会 場:岸和田市立自泉会館ホール
入場者数:38人

〈皆さんの声〉

- ◆声楽コンサートの多くは、少し肩に力を入れて聴くことが多いのですが、今日はフランクな雰囲気の中で楽しく過ごすことができました。
- ◆言葉をとても大切に歌われて、とても心地よい安らぎの時間でした。
- ◆歌に落語、またご自分で創作された落語がとても素敵でした。



お知らせ

会員の方は8面に文化情報を掲載することができます。掲載希望の方は事務所までお越しいただき用紙にご記入ください。多数希望の方がいらっしゃる場合や当協会主催の事業がたくさんある場合はご希望に添えないこともあります。ご了承ください。

お願い

岸和田文化事業協会を取り上げてみてはどうかと思われるコンサートや展示会がございましたら、ぜひ事務所まで案を届けてください。今後の参考にさせていただきます。

- 自泉会館では、新型コロナウイルス感染症防止のため事業鑑賞人数等を縮小して行っています。
- 自泉会館をご利用の際は、手指の消毒、マスク等の着用、社会的距離の確保、体調の悪い方の入館はご遠慮ください。また館内は換気のため扉等を開放しています。

●第64回自泉フレッシュコンサート ～秋に思いをはせて～

日 時:令和3年10月29日(金)午後6時30分開演
会 場:岸和田市立自泉会館ホール
出演者:久保 侑可(クラリネット)
竹ヶ鼻 智絵(ピアノ)
永田 雅子(声楽)
チケット代:会員前売1,000円(当日200円増)
一般前売1,200円(当日200円増)
チケット販売場所:岸和田市立自泉会館事務所
定 員:40名



●「こんにちは あかちゃん」はじめての音楽会

日 時:令和3年10月31日(日)午後2時開演
会 場:岸和田市立自泉会館ホール
出演者:アンサンブルおととと
チケット代:ペアチケット1,000円(当日500円増)
チケット販売場所:岸和田市立自泉会館事務所
対象月齢:3ヶ月～18ヶ月
定 員:20組(対象年齢の子どもと保護者)



●カミュー・サン＝サンス没年100周年(記念)コンサート

日 時:令和3年11月6日(土)午後2時開演
会 場:岸和田市立自泉会館ホール
出演者:高木 真実子(ピアノ)
森本 美希(ピアノ)
森本 美帆(ピアノ)
伊石 昂平(チェロ)
久保 侑可(クラリネット)
チケット代:前売3,000円(当日500円増)
チケット販売場所:岸和田市立自泉会館事務所
定 員:40名



●佐々木勇蔵コレクション「短冊に見る日本人の美意識」 ポスターデザイン募集

応募期間:令和3年10月1日(金)～令和4年1月10日(月)
賞:大賞1点 10万円授与
入賞10点 1万円授与
☆大賞・入賞作品については、令和4年2月25日(金)から
令和4年2月27日(日)に自泉会館展示室で行います
「ポスターアート展」にて披露します。
※詳しくはホームページに記載

●J.S.バッハの世界 カフェ・ツインマーマンへようこそ!

日 時:令和3年11月27日(土)午後2時開演
会 場:岸和田市立自泉会館ホール
出演者:日本古楽アカデミー
森本 英希(フラウトトラヴェルソ)
中山 裕一(ヴァイオリンソロ)
吉竹 百合子(チェンバロ)
大谷 史子(ヴァイオリン)
中田 美穂(ヴィオラ)
上田 康雄(チェロ)
角谷 朋紀(コントラバス)
チケット代:前売3,000円(当日500円増)
チケット販売場所:岸和田市立自泉会館事務所
定 員:40名



●第65回自泉フレッシュコンサート ～名曲をたずねて～

日 時:令和3年12月17日(金)午後6時30分開演
会 場:岸和田市立自泉会館ホール
出演者:加島 実可子(ピアノ)
蘭サクソフォンカルテット
笹岡 志帆(ソプラノ)
吉田 優月(アルト)
川野 未琴(テナー)
山木 莉那(バリトン)
チケット代:会員前売1,000円(当日200円増)
一般前売1,200円(当日200円増)
チケット販売場所:岸和田市立自泉会館事務所
定 員:40名



第5回自泉クリスマス会

合唱ワークショップ

①クリスマスソングコース 講師:畑澤 紘
②日本歌曲コース 講師:西川 寛子
日時:令和3年12月18日(土)①午後1時～2時30分②午後3時～4時30分
会場:岸和田市立自泉会館ホール
募集人数:各20名
参加費:各1,000円

あわてんぼうのクリスマスコンサート

日時:令和3年12月19日(日)午後2時
会場:岸和田市立自泉会館ホール
出演者:土生 夏未(声楽)
第10回自泉ジュニアコンサートで優秀な成績をおさめられた方々
チケット代:前売1,000円(当日500円増)
チケット販売場所:岸和田市立自泉会館事務所
定員:40名



作品展&ワークショップ

日時:令和3年12月15日(水)～19日(日)
午前10時～午後5時(最終日午後4時まで)
会場:岸和田市立自泉会館展示室
入場無料(ただし、ワークショップ参加者は別途材料費が必要)

■申し込み・
問い合わせ

岸和田文化事業協会事務局まで
TEL/FAX 072-437-3801
Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

令和3年度(2021年度)(2021年4月～2022年3月)

会員募集

年会費 個人会員(1口) 2,000円 団体会員(1口) 5,000円
(入会費不要) 家族会員(1口) 1,000円 法人会員(1口) 10,000円
(個人会員の同居家族) 特別会員(1口) 50,000円
入会方法 協会事務局(自泉会館)で直接受付致します。
郵便振込の場合は 口座番号 00970—9—28145
加入者名 岸和田文化事業協会
詳しくは、岸和田文化事業協会事務局まで
TEL/FAX 072-437-3801 Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

nouvelle
Fontaine

vol.72

発行:岸和田文化事業協会

発行日:2021年10月25日

◆事務局
〒596-0073
岸和田市岸城町5-10 岸和田市立自泉会館内
TEL/FAX 072-437-3801
Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

◆編集委員 小末もとえ・近江和代・小木曾由季
片山智信・黒木幸子・阪井正明

編集後記...

コロナ禍2年目の秋です。秋と言えば、芸術、スポーツ、読書、食欲、行楽・・・と言いたいところ。好きなことを楽しめる日常が恋しいですね。人恋しくなるのも秋。安心して肩寄せ合える日々、早く戻っておいで。(小 末)

<https://jisen.jp>

岸和田文化事業協会

検索

